

第二種  
尋常小學書方手本  
第四學年用下甲種

K130.721  
2.1  
4下

K130.721

2.1

4下

第二種

第四學年用下甲種

尋常小學

書方手本  
文部省

天皇陛下勅使。

皇大神宮參拜。

流早く水清し。

神苑板垣御門。

我等は人と生れ來て一  
たん心定めては事に動  
かずさそはれずはげみ

五

第百四十四

進むに何事のなご成ら  
ざらん鐵石のかたきも  
つひにとほすべし。

六

役場村長巡查。

職業苦樂幸運。

召使招待正直。

九

第三卷甲下

忠實節儉活動。

十

第三卷甲下

每週夜晝朝起。

十一

第肆甲下

田畑財產損得。

十二

第肆甲下



南ノ口ヨリ入ラントスレバ其ノ戸ハタ  
ト閉ヅ。オドロキテ西ノ口ヨリ入ラン  
トスレバ其ノ戸マタハタト閉ヂテ

南ノ戸開キタリ。北へマハレバ西ノ戸  
開キ東へマハレバ北ノ戸開ク。幾度カ  
マハリタレドモ入ルコトヲ得ズ。

發明製造商品。

十五

第三十四下

輸出數百萬圓。

十六

第三十四下

昨晚近火消防。

十七

必死土藏無事。

十八

第三卷甲下

一昨夜近火の節は大ぜい様御手  
つだひに御出で下さいました上  
色々御見まひの品までいたゞきま  
してまことに有りかたうございます

十九

御返事

第三号甲下

御かげであぶたの所をたすかり  
まして安心しました取出した家  
具類の中には多少損じた物も  
ありますが丸焼にあつたと思へば

二十

此の上も無い仕合とぞんじます  
さつそく御禮に上るはずでござい  
ますが近所の後かたづけの手  
つだひをいたして居りますので

取りあへず手紙で御禮を申し  
上げます

一月十日

阪井元藏

岩瀬總太郎様

通帳仕拂右正

二 受取申候也。

藍玉。深色。紺地。

二十五

第三卷甲下

淺黃。縞。機械織。

二十六

第三卷甲下

鶴太富造。豐豆松。

虎五郎孫平殿。



陣地進擊。突貫砲彈。銃  
丸雨飛。高地占領。敵軍。

退却。負傷。戰死。將校軍。  
曹兵卒。馬丁。無念。面目。

世界都會首府。

三十一

篆書甲下

美術工藝學問。

三十二

篆書甲下

肥料種蒔株分。

三十三

第三卷甲下

植替接木刈込。

三十四

第三卷甲下

K/30.17>1-2.1-4下

大大大大  
正正正正  
三三三三  
年年年年  
十十十十  
二一一一  
月月月月



廿廿十  
三三一七  
日日日日  
翻翻發印  
刻刻發印  
行刷行刷

發賣所

東京市日本橋區新大倉  
右衛門町十六番地  
株式會社

大正三年十一月廿四日  
文部省檢査濟

第二種尋常小學書キ方  
手本第四學年用下甲種

定價金參錢

著者兼  
發行所

文部  
高部  
秩父省

發行者

東京市日本橋區新大倉  
日本書籍株式會社

印刷所

東京市日本橋區通二丁目十九番地  
大倉保五郎

印刷所

東京市日本橋區新大倉  
大倉保五郎

國定教科書共同販賣所

